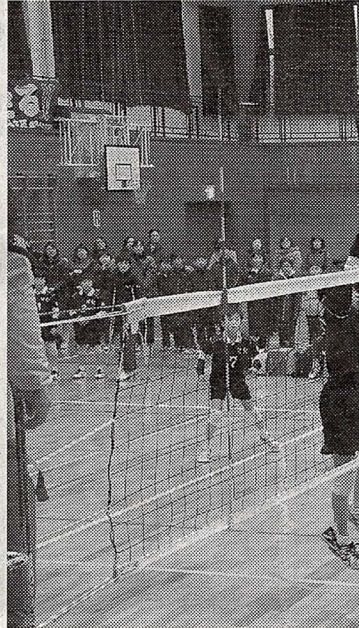


南部男子 優勝



決勝で、片桐VBC男子を相手に南部男子も懸命に攻める
(25日、みなべ町谷口の上南部小学校で)



近畿中心の出場49チーム

金丸さん (龍神村) 優秀賞

ビジネスプラン コンテスト 佳作は宮原さん (中辺路)

和歌山市で24日、第3回ビジネスプランコンテストプレゼンテーションがあり、田辺市龍神村小家で食品加工と販売を営む金丸知弘さん(29)が優秀賞、同市中辺路町野中でゲストハウスを経営する宮原正太さん(41)は佳作の地域資源活用賞に選ばれた。

内外から41人の応募があり、1、2次選考で大学生を含む20〜80代の8人がこの日のプレゼンテーション(発表時間は10分)に進んだ。

金丸さんは、東京から家族で龍神村に移住してジャムなどの製造販売とカフェの店「COSEIVA」を経営している。「地元食材を使った食品加工と、それを軸に創造する新たな観光誘致」と題して発表した。

空気がきれいで水がおいしい

創業者を対象にセミナーを開き、事業を興してもらい地

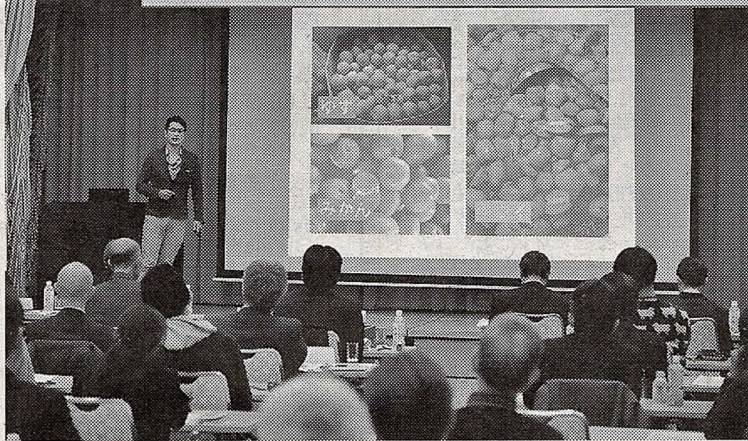
空気がきれいで水がおいしい

誘致するツアーの開催などについて提案した。宮原さんは元地域おこし協力隊員。現在はゲストハウス「ムイ」を経営している。無

駄になったシキミの葉を活用した「シキミ線香」の製造販売について発表。生産方法や資金計画、水力を利用した製粉設備のプランなどを提案し

た。審査に当たった日本政策金融公庫和歌山支店の飯田圭一支店長は「レベルがものすごく高く、質の高いプランが出た」と講評。金丸さんについて、商品開発とともに近隣と連携して旅行プランを作るなど地域活性化に貢献しているとし、宮原さんも地域資源を有効活用している点を評価した。

第6回 創業支援セミナー in わかやま 第3回 ビジネスプランコンテスト プレゼンテーション 表彰式



ステージで発表する金丸知弘さん (和歌山市で)

金丸さんは「地域に根差した販売をする中で、もつけるだけではなくて龍神の課題にも触れ地域貢献の考えも話した。結果的に自らの仕事や経営を見つめ直すことになった」と話した。

宮原さんは「ビジネスプランを皆さんに認めてもらえてうれしい。これから試作を重ねて創業できるように努力したい」と語った。